第1回「舞鶴らしい協働のまちづくりに向けた市民懇話会」の要旨をご紹介します。 (文責:舞鶴市企画調整課)

開催日: 平成16年12月4日(土)午後3時~

開催場所:舞鶴西総合会館4階会議室

会議では、まず、企画管理部長 馬場俊一が、「舞鶴らしい市民と行政の協働を推進していくためには、どのような仕組みを作っていくのが良いのか議論いただき、市に提言いただきたい。」とあいさつを述べました。

次いで、事務局の企画調整係長 福田豊明から懇話会の設置趣旨や今後のスケジュールなどについて、説明や提案を行いました。

続いて、今瀬政司さんが進行役となって、議論が進められました。

議論では、まず委員の皆さんに事前に行ったアンケート結果の紹介からはじまりま した。

超みについてあなたは 何点つけますか? 日分がこの程度しか関われない。		1.舞鶴での協働の取り	2 . 採点された理由を教えてください。	3 .これから議論したいことや議論の進め方・方法など
A 委員 30 点 自分がこの程度しか弱われない。		組みについてあなたは		 にご意見ありましたらご記入ください。
B 委員 5 0 点 市の取り組みイメージが湧かない。 市民への高減の浸透の薄きを減点。 有高薬に講論を進めるため、事前にテーマを決め勉強する開始があればと思う。 C 委員 (欠席) 6 0 点 環境問題や観光等に関しては、市民も関心をもっており、市との協働もよくできているが、子育で支援に関しては、発売する人が少ない。発言する場を設けることが必要。また、子育で支援をしている、アラマアを問じたことだが、市とボランティア団体の意見も十分解いて飲しい。 災害ボランティアセンターで感じたことだが、市とボランティア団体の意見も十分解いて飲しい。 D 委員 2 0 点 どの時点から協働と言うのか理解されていない。自分も理解していない。 ・ たびカった。 ・ 市民へ何でも情報が伝わっている。 ・ 市民へ何でも情報が伝わっている。 ・ 方変更と思う。 災害ボランティアを表取り持つ組織、仕組み、企画作りが必要と思う。 E 委員 7 点 大変難しい質問です。 ・ 方球点のあるウォーターフロント構想について ・ 市のまちづくりに何が一番必要が ・ 相心の問題が出程している。 ・ 例えば、送迎車同についても問題有り。 ・ 市民の目標と行政の方針とギャップを如何に近づけよいない。出来ない市民もいる。今後の取り組みや努力次第で100点に近づくことができるが議論したい。 J 委員 4 0 点 今から議論を行い、あり方を問うてい く中で点数はつけにくい、100点を 日指すべき。 ・ 多くの計画家定や議論に市民参加型の 委員会等が設けられたり、パブリック コメント手級制度があることやHPでの情報公開が完実している。 特にありません。 K 委員 7 0 点 多くの計画家定や議論に市民参加型の 委員会等が設けられたり、パブリック コメント手級制度があることやHPでの情報公開が完実している等、他市と 特にありません。		何点つけますか?		
市民への選議の浸透の浸透の浸透を衰減。	A 委員	3 0 点	自分がこの程度しか関われない。	ペットの飼い主のマナー向上について
C委員 (欠席) 60点 環境問題や観光等に関しては、 簡のをもっており、市との協働もよく できているが、子育て支援に関しては、 競のニーズを市は汲み取る形になって いない。子育て中の側の中には、発言 する人が少ない、発言する場を設ける ことが必要。また、子育て支援をして いるNPO・ボランティアはなの意見 も十分隔いて欲しい。 災害ボランティアセンターで感じたことだが、市とボラ ンティアとの間に情報交換の場がなく、ニーズに対応できなかった。 市とボランティア等を取り持つ組織、仕組み、企画作りが必要と思う。 E委員 (交易] 95点 市民へ何でも情報が伝わっている。 市民へ何でも情報が伝わっている。 市民へ行致のつながりが薄い。 ・市及と行致のつながりが薄い。 ・市のまちづくりに何が一番必要か ・福祉の問題が山場している。 例えば、送迎車局について一時間有り。 ・市民の問題が山場している。 例えば、送迎車局についても問題有り。 i 委員 (欠席) 一定評価はするが、まちづくりに勢加 していない、出来ない市民もいる。今後の取り組みや男力次第で100点に 近づくことも可能。	B委員	5 0点	市の取り組みイメージが湧かない。	有意義に議論を進めるため、事前にテーマを決め勉強す
(欠席) 関心をもっており、市との協働もよくできているが、子育で支援に関しては、親のニーズを市は汲み取る形になっていない。子育で中の親の中には、発言する人が少ない、発言する場合とはでしたことが、子育で支援をしているNPOやボランティア団体の意見も十分開いて欲しい。 ※書ボランティアセンターで感じたことだが、市とボランティアセンターで感じたことだが、市とボランティアを取り持つ組織、仕組み、企画作りが必要と思う。 D委員 20点 どの時点から協働と言うのか理解されていない。 ※書ボランティアを取り持つ組織、仕組み、企画作りが必要と思う。 E委員 95点 市民へ何でも情報が伝わっている。 講演を拝聴してからとします。			市民への意識の浸透の薄さを減点。	る期間があればと思う。
できているが、子育で支援に関しては、 親のニーズを市は汲み取る形になって いない。発言する場を設ける ことが必要。また、子育で支援をして いるNPOやボランティア団体の意見。 も十分関いて欲しい。	C 委員	60点	環境問題や観光等に関しては、市民も	市とNPO ,ボランティアグループとの協働のあり方に
#のニーズを市は汲み取る形になって いない。発言する場を設ける ことが必要。また、子育て支援をして いるNPOやボランティア団体の意見 も十分難いて欲しい。 ②の時点から協働と言うのか理解され ていないし、自分も理解していない。 おとボランティアを取り持つ組織、仕組み、企画作り が必要と思う。 「をなかった。 市と、イランティア等を取り持つ組織、仕組み、企画作り が必要と思う。 「を養養」 7点 大変難しい質問です。 赤燥瓦のあるウォーターフロント構想について ・ 市民と行致のつながりが薄い。 市のまちづくりに何が一番必要か ・ 福祉の問題が山積している。 グス席 ・ 一定評価はするが、まちづくりに参加 していない、出来ない市民もいる。今後の取り組みや努力次第で100点に 近づくことも可能。 ・ 今から議論を行い、あり方を問うてい く中で点数はつけたくい。100点を持つことができるか議論したい。 「は近くことも可能。 ・ ない できるか 議論を行い、あり方を問うてい く中で点数はつけたくい。100点を持つことができるか 議論したい。 を表質 ・ 70点 ・ 多くの計画策定や議論に市民参加型の 奏員会等が設けられたり、パブリック コメント手続制度があることやHPで の情報公開が充実している等、他市と	(欠席)		関心をもっており、市との協働もよく	ついて
いない。子育で中の親の中には、発言する場を設けることが必要。また、子育で支援をしているNPOやボランティア団体の意見も十分聞いて欲しい。			できているが、子育て支援に関しては、	
する人が少ない。発言する場を設ける ことが必要。また、子育で支援をして いるNPOやボランティア団体の意見 も十分聞いて欲しい。 との時点から協働と言うのか理解され でいないし、自分も理解していない。			親のニーズを市は汲み取る形になって	
□ ことが必要。また、子育で支援をしているNPOやボランティア団体の意見を十分聞いて欲しい。 □ 20点			いない。子育て中の親の中には、発言	
いるNPOやボランティア団体の意見			する人が少ない。発言する場を設ける	
も十分関いて欲しい。			ことが必要。また、子育て支援をして	
D委員 20点 どの時点から協働と言うのか理解され ていないし、自分も理解していない。 災害ボランティアセンターで感じたことだが、市とボランティアをの間に情報交換の場がなく、ニーズに対応できなかった。 市とボランティア等を取り持つ組織、仕組み、企画作りが必要と思う。 E委員 95点 市民へ何でも情報が伝わっている。 講演を拝聴してからとします。 F委員 7点 大変難しい質問です。 市民と行政のつながりが薄い。 赤煉瓦のあるウォーターフロント構想について ・ 市のまちづくりに何が一番必要か H委員 (欠席) 30点 福祉の問題が山積している。 例えば、送迎車両についても問題有り。 1委員 -定評価はするが、まちづくりに参加 していない、出来ない市民もいる。今後の取り組みや努力次第で100点に 近づくことも可能。 ・ 市民の目標と行政の方針とギャッブを如何に近づけよ り多くの市民が「住民満足度日本ー」のふるさと舞鶴づくりに関心を持つことができるか議論したい。 くりに関心を持つことができるか議論したい。 くりに関心を持つことができるか議論したい。 を引きなけけにくい。100点を 自指すべき。 K委員 70点 多くの計画策定や議論に市民参加型の 委員会等が設けられたり、パブリック コメント手続制度があることやHPで の情報公開が充実している等、他市と 特にありません。			いるNPOやボランティア団体の意見	
			も十分聞いて欲しい。	
きなかった。	D委員	2 0 点	どの時点から協働と言うのか理解され	災害ボランティアセンターで感じたことだが、市とボラ
市とボランティア等を取り持つ組織、仕組み、企画作りが必要と思う。 市民へ何でも情報が伝わっている。 講演を拝聴してからとします。 子委員 ?点 大変難しい質問です。 赤煉瓦のあるウォーターフロント構想について 市のまちづくりに何が一番必要か 福祉の問題が山積している。 例えば、送迎車両についても問題有り。 市民の目標と行政の方針とギャップを如何に近づけより多くの市民が「住民満足度日本ー」のふるさと舞鶴づくりに関心を持つことができるか議論したい。 近づくことも可能。 小のいまが、あり方を問うてい くりに関心を持つことができるか議論したい。 前回の議論からどのように進展したのか、どのように進く中で点数はつけにくい。100点を 日指すべき。 特にありません。 特にありません。 特にありません。			ていないし、自分も理解していない。	ンティアとの間に情報交換の場がなく、ニーズに対応で
下委員				きなかった。
 E委員 95点 市民へ何でも情報が伝わっている。 講演を拝聴してからとします。 F委員 ?点 大変難しい質問です。 赤煉瓦のあるウォーターフロント構想について 市民と行政のつながりが薄い。 市のまちづくりに何が一番必要か 福祉の問題が山積している。 例えば、送迎車両についても問題有り。 市民の目標と行政の方針とギャップを如何に近づけよしていない、出来ない市民もいる。今後の取り組みや努力次第で100点に近づくことも可能。 クから議論を行い、あり方を問うていく中で点数はつけにくい。100点を目指すべき。 タくの計画策定や議論に市民参加型の委員会等が設けられたり、パブリックコメント手続制度があることやHPでの情報公開が充実している等、他市と 				市とボランティア等を取り持つ組織、仕組み、企画作り
F委員 ?点 大変難しい質問です。 赤煉瓦のあるウォーターフロント構想について G委員 65点 市民と行政のつながりが薄い。 市のまちづくりに何が一番必要か H委員 30点 福祉の問題が山積している。 例えば、送迎車両についても問題有り。 していない、出来ない市民もいる。今後の取り組みや努力次第で100点に近づくことも可能。 り多くの市民が「住民満足度日本一」のふるさと舞鶴づくりに関心を持つことができるか議論したい。 より多くの市民が「住民満足度日本一」のふるさと舞鶴づくりに関心を持つことができるか議論したい。 できるから議論を行い、あり方を問うていく中で点数はつけにくい。100点を目指すべき。 大変難しいえるのか。その辺を確立して議論を進行すべき。 おいば協働といえるのか。その辺を確立して議論を進行すべき。 大変員会等が設けられたり、パブリックコメント手続制度があることやHPでの情報公開が充実している等、他市と 特にありません。				が必要と思う。
日委員 65点 市民と行政のつながりが薄い。 市のまちづくりに何が一番必要か 福祉の問題が山積している。	E 委員	9 5 点	市民へ何でも情報が伝わっている。	講演を拝聴してからとします。
H委員 (欠席)	F 委員	?点	大変難しい質問です。	赤煉瓦のあるウォーターフロント構想について
(欠席) 例えば、送迎車両についても問題有り。	G委員	6 5 点	市民と行政のつながりが薄い。	市のまちづくりに何が一番必要か
i委員 69点 一定評価はするが、まちづくりに参加 していない、出来ない市民もいる。今 後の取り組みや努力次第で100点に 近づくことも可能。 市民の目標と行政の方針とギャップを如何に近づけよ り多くの市民が「住民満足度日本一」のふるさと舞鶴づ くりに関心を持つことができるか議論したい。 J委員 40点 今から議論を行い、あり方を問うてい く中で点数はつけにくい。100点を 目指すべき。 前回の議論からどのように進展したのか、どのように進 めれば協働といえるのか。その辺を確立して議論を進行 すべき。 K委員 70点 多くの計画策定や議論に市民参加型の 委員会等が設けられたり、パブリック コメント手続制度があることやHPで の情報公開が充実している等、他市と 特にありません。				
していない、出来ない市民もいる。今 り多くの市民が「住民満足度日本一」のふるさと舞鶴づくりに関心を持つことができるか議論したい。 近づくことも可能。	H委員	3 0 点		福祉の問題が山積している。
後の取り組みや努力次第で100点に		3 0 点		•
近づくことも可能。	(欠席)		一定評価はするが、まちづくりに参加	例えば、送迎車両についても問題有り。
J委員 40点 今から議論を行い、あり方を問うてい く中で点数はつけにくい。100点を 目指すべき。 前回の議論からどのように進展したのか、どのように進 めれば協働といえるのか。その辺を確立して議論を進行 すべき。 K委員 70点 多くの計画策定や議論に市民参加型の 委員会等が設けられたり、パブリック コメント手続制度があることやHPで の情報公開が充実している等、他市と 特にありません。	(欠席)			例えば、送迎車両についても問題有り。 市民の目標と行政の方針とギャップを如何に近づけよ
く中で点数はつけにくい。100点を めれば協働といえるのか。その辺を確立して議論を進行 すべき。 タくの計画策定や議論に市民参加型の 特にありません。 委員会等が設けられたり、パブリック コメント手続制度があることやHPで の情報公開が充実している等、他市と	(欠席)		していない、出来ない市民もいる。今	例えば、送迎車両についても問題有り。 市民の目標と行政の方針とギャップを如何に近づけよ り多くの市民が「住民満足度日本一」のふるさと舞鶴づ
K委員 70点 多くの計画策定や議論に市民参加型の 多員会等が設けられたり、パブリック コメント手続制度があることやHPで の情報公開が充実している等、他市と 特にありません。	(欠席)		していない、出来ない市民もいる。今 後の取り組みや努力次第で100点に	例えば、送迎車両についても問題有り。 市民の目標と行政の方針とギャップを如何に近づけよ り多くの市民が「住民満足度日本一」のふるさと舞鶴づ
K委員 70点 多くの計画策定や議論に市民参加型の 委員会等が設けられたり、パブリック コメント手続制度があることやHPで の情報公開が充実している等、他市と	(欠席)	6 9 点	していない、出来ない市民もいる。今 後の取り組みや努力次第で100点に 近づくことも可能。	例えば、送迎車両についても問題有り。 市民の目標と行政の方針とギャップを如何に近づけよ り多くの市民が「住民満足度日本一」のふるさと舞鶴づ くりに関心を持つことができるか議論したい。
委員会等が設けられたり、パブリック コメント手続制度があることやHPで の情報公開が充実している等、他市と	(欠席)	6 9 点	していない、出来ない市民もいる。今後の取り組みや努力次第で100点に 近づくことも可能。 今から議論を行い、あり方を問うてい	例えば、送迎車両についても問題有り。 市民の目標と行政の方針とギャップを如何に近づけより多くの市民が「住民満足度日本一」のふるさと舞鶴づくりに関心を持つことができるか議論したい。 前回の議論からどのように進展したのか、どのように進
コメント手続制度があることやHPで の情報公開が充実している等、他市と	(欠席)	6 9 点	していない、出来ない市民もいる。今後の取り組みや努力次第で100点に近づくことも可能。 今から議論を行い、あり方を問うていく中で点数はつけにくい。100点を	例えば、送迎車両についても問題有り。 市民の目標と行政の方針とギャップを如何に近づけより多くの市民が「住民満足度日本一」のふるさと舞鶴づくりに関心を持つことができるか議論したい。 前回の議論からどのように進展したのか、どのように進めれば協働といえるのか。その辺を確立して議論を進行
の情報公開が充実している等、他市と	(欠席)	69点	していない、出来ない市民もいる。今後の取り組みや努力次第で100点に近づくことも可能。 今から議論を行い、あり方を問うていく中で点数はつけにくい。100点を目指すべき。	例えば、送迎車両についても問題有り。 市民の目標と行政の方針とギャップを如何に近づけより多くの市民が「住民満足度日本一」のふるさと舞鶴づくりに関心を持つことができるか議論したい。 前回の議論からどのように進展したのか、どのように進めれば協働といえるのか。その辺を確立して議論を進行すべき。
	(欠席)	69点	していない、出来ない市民もいる。今後の取り組みや努力次第で100点に近づくことも可能。 今から議論を行い、あり方を問うていく中で点数はつけにくい。100点を目指すべき。 多くの計画策定や議論に市民参加型の	例えば、送迎車両についても問題有り。 市民の目標と行政の方針とギャップを如何に近づけより多くの市民が「住民満足度日本一」のふるさと舞鶴づくりに関心を持つことができるか議論したい。 前回の議論からどのように進展したのか、どのように進めれば協働といえるのか。その辺を確立して議論を進行すべき。
比べても進んでいる方だ。	(欠席)	69点	していない、出来ない市民もいる。今後の取り組みや努力次第で100点に近づくことも可能。 今から議論を行い、あり方を問うていく中で点数はつけにくい。100点を目指すべき。 多くの計画策定や議論に市民参加型の委員会等が設けられたり、パブリック	例えば、送迎車両についても問題有り。 市民の目標と行政の方針とギャップを如何に近づけより多くの市民が「住民満足度日本一」のふるさと舞鶴づくりに関心を持つことができるか議論したい。 前回の議論からどのように進展したのか、どのように進めれば協働といえるのか。その辺を確立して議論を進行すべき。
	(欠席)	69点	していない、出来ない市民もいる。今後の取り組みや努力次第で100点に近づくことも可能。 今から議論を行い、あり方を問うていく中で点数はつけにくい。100点を目指すべき。 多くの計画策定や議論に市民参加型の委員会等が設けられたり、パブリックコメント手続制度があることやHPで	例えば、送迎車両についても問題有り。 市民の目標と行政の方針とギャップを如何に近づけより多くの市民が「住民満足度日本一」のふるさと舞鶴づくりに関心を持つことができるか議論したい。 前回の議論からどのように進展したのか、どのように進めれば協働といえるのか。その辺を確立して議論を進行すべき。

次に、アンケートの回答を踏まえて、それぞれのまちづくりへの想いや協働への考え方について語っていただき、議論を進めました。

J委員

2年前に開催された市制60周年市民検討委員会の提言の中で、協働について考え 方をまとめているので、これを踏まえて議論していくべきだと思う。

事務局

市政60周年市民懇話委員会からは、具体的な事業というよりも、協働の推進につながる取り組みがいいのではないかという提言をいただいた。その中では、まちへの思いをもっと深められるように、まちの歴史を活かすような取り組み等いくつかの提言をいただいた。

特に協働を深めるための方策について、提言をいただいたが、協働という言葉が浸透するには役立ったと思う。

進行役

今回の議論が3月にまとまった時、次の会議や活動につながるようなものにしていかなければならない。積み上げの議論が大切だと思う。

(次回、2年前の市制60周年市民検討委員会の提言書を事務局からお配りすることになりました。)

F 委員

全国の協働の事例で「これはすごい」という取り組みを紹介して欲しい。

進行役

熊本の水俣の「地元学」が参考になる。ここでは、自分達の地域のいいところを探 そうという"ある物探し"を行っている。もしかしたらそれは宝物かもしれない。そ れらを調べて地図に落とす。また、自分達の地域の総合計画を作って、それが市の総 合計画にも反映されている。

G委員

私はボランティアで過疎地の一人暮らしの人への手助けをやっている。これからは、 老人と子供、若い人との交流をもっと深めたいので、市と一緒になって、どのように 取り組んでいけばよいか考えていきたい。

A 委員

犬を飼っている人でマナーの悪い人が多い。もっと住民みんなで考えていくべきで はないだろうか。マナー向上講座のようなものを開けないか!

D委員

災害の時、ボランティアセンターに参加し、ニーズをまとめたりした。 その時おかしいなと感じたことは、市役所には、ニーズの情報があるにも関わらず、 センターにはその情報が入らなかった。市とボラセンとの情報交換の場があればうま く機能したのではないかと思う。だから、そういう意味で市民と行政の協力の仕組みの必要性を感じている。

F委員

舞鶴らしいものといえば、ウォーターフロントや赤煉瓦がある。その活用を市と市 民が一緒にやれたらいいと思っている。

進行役

舞鶴らしいということは、ひとり一人の市民が「自分らしい」取り組みを行うことではないだろうか。

協働の仕組み自体は共通のものになるだろうが、やはり個別の分野で生かされるような協働の仕組みを考えていく必要がある。

B委員

多くの人は、実際には、まちづくりに全く無関心だ。

また、まちづくりについて、市のHPで調べようとしてみたが、十分判らなかった。 市民が必要な情報にたどり着けるようにするのが協働の前提だと思う。

市民には、情報が少なく、まちづくりの意識が低い。意識自体を高めていくための 仕組み作りも必要だ。

進行役

まちづくりはやってみないとわからない。まちづくりを進めていくには、まず、参加することである。

K委員

男性陣は、仕事が忙しくいろんな活動に出てこない。でも、忙しい人でも想いは持っているはず。

だからインターネットなどを活用して、いかにその想いを吸い上げるかが課題ではないか。

G委員

若者と老人のハンディをうめる為の何かをやりたいと思っている。

E 委員

私は、以前は市民に対する市の対応に不満ばかり抱いていたが、今では高い評価をしている。要は、自らで何かを行政に求めていかなければ、与えられるものはないと思う。最近は、まちづくりでの女性の活躍が目立っている。男性は、もっと頑張って欲しい。西市民プラザなどでのマナーが悪く、活動室が閉鎖中。管理人さんも何も言わない。利用者である市民も自分にできることは何か考えるべきだ。声かけくらいしていくことは出来ると思う。

I委員

農村地域では、自分達のことは自分達でやり、極力、行政の力を借りない気風がある。農村との間で協働できるまちづくりの事業を起したい。これまでやったことのない地域に提案することが大切ではないか。この懇話会で、農村地域のまちづくりのきっかけが探し出せたらありがたい。

進行役

舞鶴らしい協働のまちづくりについて、今回の出席者の共通事項は何だと思いますか?

D委員

過疎地では高齢化が進んでいる。お年寄りと若者との交流が出きたらいいと思う。

F 委員

まいづる = 岸壁の母 = まちにとって暗いイメージでありがちだが、岸壁の母には、 人類共通の普遍的な人間愛、家族愛、母の愛がある。何とか使えないかと考えている が、なかなか思い浮かばない。

E 委員

これまで、行政が作ってきた社会資源をもっと使っていけないか?その方策を皆で 考えよう。

進行役

次回の懇話会では、「協働のまちづくり」を進めていく上での必要な仕組みや、「舞鶴らしい協働」ってなんだろう、などについて、それぞれの経験や活動の中から思い・考えを述べていただき、その中で共通する事項はないか、を議論していきたいので皆さん、考えてきてください。

次回の開催予定

第2回市民懇話会

12月18日(土)午後1時30分~

舞鶴西総合会館4階第一会議室

公開で行いますので、市民の皆さまのお越しをお待ちしております。